


津波警報・注意報について

気象庁は、津波による災害の発生が予測される場合には、地震発生後約3分で**大津波警報**、**津波警報**、**津波注意報**を発表します。その後、「予想される津波の高さ」「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

●気象庁が発表する津波警報等の発表基準と高さの予想の区分●

	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ 予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造住宅が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

●津波警報・注意報と避難のポイント●

マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合は、「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます。

「巨大」「高い」という言葉での発表は非常事態です。東日本大震災のような津波が来るとして、一刻も早く避難してください。



高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として発表します。

大津波警報や津波警報が発表されているときには、観測された津波の高さを見て、これが最大だと誤解しないように、津波の高さを数値で表さずに「観測中」と発表する場合があります。

※津波は何度も繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が高くなる場合があります。

震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。**強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。**

地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

津波は沿岸の地形などの影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。**ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。**

津波は長い時間繰り返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。



非常持出品・備蓄品

非常用持出品

できるだけ身軽に避難できるようにするため、家族で持ち物を分散し、避難に必要な物品や貴重品に限りましょう。非常用持出品は袋に入れ、逃げ出す時の通り道、目につくところ、寝室の枕元などに置いておきましょう。

非常用持出品チェックリスト

自分や家族の環境に応じて必要なものを準備してください

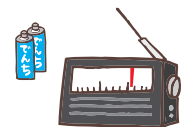
携帯電話・スマートフォン



- 携帯電話・スマートフォン
- モバイルバッテリー
(乾電池式の場合、乾電池も一緒に)

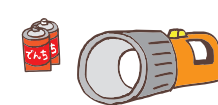
スマートフォンのライト機能は懐中電灯代わりとなります。また、電話やメールは家族などへの連絡手段となり、ラジオがなくても情報収集が可能となるなど、災害時にも大変便利に活用できます。バッテリー切れで使えないことがないように、モバイルバッテリーを備えておきましょう。

携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

懐中電灯



- 懐中電灯
(できれば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

救急用品



- 常備薬
- 絆創膏
- きず薬
- 包帯
- かぜ薬
- 胃腸薬
- 鎮痛剤

貴重品



- マイナンバーカード
- 現金
- 通帳
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証

非常食品



- ご飯(アルファ米)
- レトルト食品
- 缶詰
- カンパン
- チョコレート
- 水
- 紙コップ
- 紙皿

その他



- 衣類(上着・下着)
- 防寒具・雨具
- 使い捨てカイロ
- 洗面用具
- タオル
- ラップ・ポリ袋
- ライター・マッチ
- 軍手
- 布テープ
- マジック
- マスク
- アルコールスプレー・消毒液
- ウェットティッシュ・除菌シート
- 体温計
- スリッパ・室内履き
- 生理用品

乳幼児がいる家庭の備え

- ミルク(キューブタイプや液体ミルク)
- 離乳食(スプーンやフォークも)
- 紙オムツ
- 哺乳瓶
- おしりふき

高齢者がいる家庭の備え

- 入れ歯・入れ歯用洗浄剤
- 補聴器
- 持病の薬
- 大人用紙パンツ
- お薬手帳のコピー
- 杖

備蓄品

災害発生直後、飲料水や食料等は入手することが困難な状況が想定されます。また、ライフラインが途絶えた場合を想定し、数日間を生活できるように各家庭で備えておきましょう。

食料や飲料水 →最低3日分(できれば1週間分)×家族分

保存期間の長いもの(缶詰、レトルト食品、インスタント食品、菓子類など)を多めに買って置き、消費したら補充するという**循環備蓄(ローリングストック法)**にしていれば、常に食料の備蓄が可能です。



生活用品(例)

- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料
- 調理器具
- 電池
- 電池式ストーブやカセット式ガスストーブ
- ウェットシート
- ラップ
- ビニール袋
- トイレットペーパー
- 簡易トイレ
- ポリタンク
- 生活用水(風呂・洗濯機に貯水)

ほかにも、家庭で必要なものは日頃から備えておきましょう

津波ハザードマップ わが家の防災メモ

津波 非常持出品・備蓄品 冬の避難 避難所一覧表 索引 図 津波ハザードマップ わが家の防災メモ